

さがみはら

発行 相模原市総務課市史編さん室

# 市史編さんだより

第9号 2002.11.1

## 現代図録編 内容具体化へ

このほど、「現代図録編」の執筆を、清水 靖夫氏（法政大学文学部講師：日本地形図）、箸本 健二氏（大阪学院大学企業情報学部助教授：経済地理学）、羽田 博昭氏（横浜市史編集室嘱託：日本現代史）、浜田 弘明氏（桜美林大学資格・教職教育センター助教授、市史編集委員：人文地理学）<五十音順>の4名の方をお願いすることとなりました。

去る9月20日には第1回目の打ち合わせ会を行い、刊行までのスケジュール及び現代図録編の内容・構成等について意見交換を行いました。今後は、平成16年11月の刊行を目指して、取り扱うテーマや写真の選定、執筆等の作業を進めていくこととなります。厳しいスケジュールになりますが、快く引き受けて頂いた執筆者の皆さんとともに、精一杯作業を進めていきたいと思えます。

## 進む 写真収集作業

相模原市では市史現代図録編及び記念要覧の刊行に向け、市史編さん室と広聴広報課共同で、昭和20年頃から現在までの写真を収集してきましたが、10月20日現在、集まった写真はおよそ800枚になりました。写真はパソコンに取り込み、整理作業が終わり次第返却をしています。ご協力いただいた皆さんありがとうございます。



さて、下の写真は、当麻にお住まいの中島寛氏から寄せられたものです。

昭和26年秋に行われた、麻溝地区青年団による仮装行列の記念写真です。後方に「祝講和」の文字が見え、中央の人物は「吉田茂」の名札をつけています。他に「池田勇人」や「麻生和子（吉田茂の娘）」等の名前もあります。

この年の9月8日にサンフランシスコ講和条約の調印があり、日本が主権を回復しました。それを祝うために、仮装行列のテーマを「講和」としたということです。

（主査 小原 隆）

## 米国に眠るSAGAMIHARAの記録 ～発掘への取り組み～

各地の自治体史編さん事業では、第二次世界大戦から終戦、占領期の歴史を記録する取り組みとして、1980年代後半以降、国外での調査、資料収集が多く見られるようになりました。

例えば横浜市(調査国：米国、英国、中国等)、茅ヶ崎市(米国)、藤沢市(米国)、大和市(台湾)、千葉県鎌ヶ谷市(米国)、広島県呉市(オーストラリア)ほか、多くの自治体が国外での調査、資料収集を実施し、その成果を刊行しています。

旧日本陸軍の軍都であった相模原地域では、戦後連合軍が進駐し、旧日本軍施設を接收しました。そのため占領期間中の相模原の記録が、連合軍最高司令官総司令部(GHQ/SCAP)の資料として、米国国立公文書館などに多数残されていると考えられます。

日本の国立国会図書館は昭和53年から平成5年にわたり、米国国立公文書館のGHQ関係資料を中心にマイクロフィッシュ約30万枚、マイクロフィルム約1500巻分を収集し、現在、館内の憲政資料室で公開しています。市史編さん室では、9月から国立国会図書館における日本占領関係資料の調査、収集を開始しました。

米国の膨大な資料の中から「SAGAMIHARA」に関する資料を探し出すのは容易ではありません。実際の作業は、辞書を片手にマイクロフィッシュを検索するというものですが、文書の文字が薄くて判読しづらいものも多く、長時間の作業は、目にとっては過酷なものです。また特殊な文書であるため、英文読解力のほか、専門用語の知識も必要です。国会図書館の開館時間という時間的な制約もあるため、計画的に効率よく作業をすすめることが求められます。

国会図書館がアメリカで収集した資料は、GHQ本部関連の資料が中心であるため、占領期の地方部隊に関する資料は比較的少ないほか写真資料が少ないといった問題もあります。



米国に眠る「SAGAMIHARA」の記録を発掘することは容易ではありませんが、市史編さん室の新たな挑戦がスタートしました。

(調査員 小田原・五味  
元調査員 下島)

麻溝台保育園とキャンプ座間の子どもたちとの交流

七面鳥に興味津々

(米国国立公文書館所蔵・昭和33年撮影・編集委員会栗田委員提供)

## 前市史編集室の写真から 7

今回は、昭和45年に撮影された「女子大通り」の風景で、現在のロビーシティ前交差点から相模女子大の方向を眺めたものです。右の写真のブロック塀の中の建物は米陸軍医療センターで、この敷地が日本政府へ返還さ



れたのは昭和56年。後に相模大野高校やグリーンホール相模大野、また「ロビーシティ」として高層住宅とテナントに生まれ変わりました(左の写真)。



市史編さん室では、このような相模原の移り変わりがわかるような写真を募集しています。お持ちの方はお知らせください。

### ◇トピックス

#### 「市史講演会」を開催します。

- 日時 : 11月9日(土)午後2時～3時30分 (開場は午後1時30分)
- テーマ : 「地域の歴史 人の歴史 一大河ドラマと相模原」
- 講師 : 神崎彰利(市史編さん室特別顧問)
- 会場 : 市立博物館地階大会議室
- 定員 : 200名(先着順)
- 対象 : 15歳以上の人(中学生は除く)
- 受講料 : 無料

相模原の歴史をNHKの人気テレビ番組「大河ドラマ」との関係から考えます。受講ご希望の方は当日直接会場へお越しください。



## 編さん室の動き (9月～10月)

月	日	内 容	
9	1	市史編さんだより第8号発行	
	3	編集委員会の栗田委員と打ち合わせ及び藤沢市視察 (小原主査・河本学芸員)	
	10	矢部・田加井宅へ資料調査(小原主査・小田原調査員)	
	12	市立博物館学芸員と市史自然編について打ち合わせ	
	20	市史現代図録編執筆者打ち合わせ会を開催 編集委員会の岩野委員と自然編調査計画等について打ち合わせ	
	25	事務所リース契約に伴う入札(参加6社)	
	26	国立国会図書館へ資料調査(小原主査・下島調査員)	
	27	当麻・中島宅へ写真資料調査(小原主査・小田原調査員) キャンプ座間を訪問 米陸軍部隊名等の調査を依頼 (田所主幹・井上副主幹・小原主査)	
	10	1	事務室リース契約締結
		8	キャンプ座間にて写真資料閲覧(井上副主幹・小原主査) 相模原市No.54 遺跡発掘調査状況視察(井上副主幹・河本学芸員)
9		中央公民館講座へ講師派遣(神崎特別顧問) 神史協研修会(虎屋文庫・三菱資料館視察)へ出席(井上副主幹)	
10		国立公文書館等へ特別展視察調査(方波見主任・河本学芸員・五味調査員)	
11		川越市立博物館・市制80周年記念特別展視察調査 (安立室長・田所主幹・小原主査)	
16		博物館防災訓練に参加	
17		県立公文書館へ現代資料調査(小原主査・小田原調査員)	
22		県立川崎図書館へ現代資料調査(小原主査・五味調査員)	
24		横浜開港資料館へ現代資料調査(下島・小田原調査員)	
25		日本新聞博物館へ現代資料調査(小原主査・五味調査員)	
29		博物館収蔵生活資料等写真撮影(11月2日まで)	

☆下島康史調査員が10月で退職しました。

☆育児休業中だった増島亮子主任が、11月から復帰します。

<お知らせ> 市史編さんだよりは奇数月の1日に発行しています。お読みになってのご意見・ご感想をお待ちしています。  
(編集担当 主任 方波見 淳)

### 「さがみはら市史編さんだより」第9号

発行 平成14年11月1日

編集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-15 市立博物館内

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8061